

# 西会津町雪対策基本計画（第2期）

## 【概要版】



【自助】・・・家族又は近親者等において行う克雪対策

【共助】・・・自治区などの地域コミュニティが協力して行う克雪対策

【公助】・・・町（行政機関）が担う道路除雪などの克雪対策及び、

【自助】または【共助】が行う克雪対策に対する支援

※新たに追加した箇所については、**赤字**で記載されています。



# 目次

<b>基本計画の目指す方向性</b>		<b>P.1</b>
<b>施策の展開</b>		
<b>1. 雪に強いまちづくり</b>		<b>誰もが情報を受け取れる町</b>
<b>1-1</b>	流雪溝、消融雪設備の整備	<b>P.2</b>
<b>1-2</b>	雪に関する情報提供システムの構築	<b>P.3</b>
<b>1-3</b>	雪に強い居住環境の整備	<b>P.4</b>
<b>1-4</b>	冬期共同住宅の整備	<b>P.5</b>
<b>1-5</b>	環境にやさしい雪対策の調査検討	<b>P.6</b>
<b>2. 冬の快適な道づくり</b>		<b>除雪体制が維持継続できる町</b>
<b>2-1</b>	道路交通の確保	<b>P.7-8</b>
<b>2-2</b>	歩道の確保	<b>P.8</b>
<b>3. 共助による雪処理の体制づくり</b>		<b>地域が一体となって支え合う町</b>
<b>3-1</b>	地域における雪処理の体制づくり	<b>P.9</b>
<b>3-2</b>	除雪弱者、要配慮者への支援	<b>P.10</b>
<b>3-3</b>	除雪作業の担い手確保	<b>P.11</b>
<b>4. 安全な生活環境づくり</b>		<b>安全・安心に暮らせる町</b>
<b>4-1</b>	雪害防止対策	<b>P.12</b>
<b>4-2</b>	安全な雪対策の取組み	<b>P.13-14</b>
<b>5. 豪雪時の体制づくり</b>		
<b>5-1</b>	豪雪対策本部の設置と応急対策	<b>P.14</b>
<b>6. 雪を活かしたまちづくり</b>		
<b>6-1</b>	産業及び観光の振興	<b>P.15</b>
<b>6-2</b>	快適な冬の暮らし	<b>P.16</b>

## 基本理念

# 人と自然にやさしいまちづくり

## 基本目標

# 協働のまちづくりによる誰もが住み良い雪国の創生

## 基本方針

- 1 雪に強いまちづくり
- 2 冬の快適な道づくり
- 3 共助による雪処理体制づくり
- 4 安全な生活環境づくり
- 5 豪雪時の体制づくり
- 6 雪を活かしたまちづくり

## 地域安全克雪方針

- 1 誰もが情報を受け取れる町
- 2 除雪体制が維持・継続できる町
- 3 地域が一体となって支え合う町
- 4 安全・安心に暮らせる町

### ※地域安全克雪方針とは・・・

地域における死傷事故の防止に向け、町が地域住民をはじめとする地域の関係者と、地域の現状や将来見込み等の認識を共有し、自立的で安全な地域を実現するための将来構想を地域ぐるみで設定し、その達成のための各主体の取組を定めたもの。

## 1-1 流雪溝、消融雪設備の整備

### 【現状と課題】

流雪溝は、自然水利を活用した除排雪システムとして、雪処理の省力化、効率化につながっているが、施設の構造や水量の問題、処理マナーの欠如により、雪詰まりが生じ、水上がりの現象が年に数回見られる。

また、空家の増加や高齢化の進行により維持管理の課題や除雪作業自体が困難となることが予想されるなど、消雪パイプや自然エネルギーを活用した消融雪施設の整備と汎用化がもたれる。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"><li>○除雪組合等への指導及び運営支援</li><li>○雪処理に係る広報活動の推進</li><li>○計画的な施設修繕</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○分水作業の効率化に向けての調査</li><li>○消雪施設整備の促進</li><li>○急こう配箇所への融雪設備の導入</li><li>○自然エネルギーを活用した融雪設備の調査</li></ul>

### 町民の役割（自助）

- 除雪組合等の活動に積極的に参加する。
- 通勤通学時は流雪溝の蓋をしめるなど安全に気を付けて作業を行う。
- 除雪作業時のルール・マナーを守って流雪溝を使用する。

### 地域の役割（共助）

- 運用や維持管理について、地域住民への周知徹底を図る。
- 定期的に流雪溝のパトロールを行う。
- 除雪組合の活動の充実を図り活性化に努める。

### 行政の役割（公助）

- 流雪溝や消雪施設の修繕を計画的に行う。
- 流雪溝や消雪施設の新規整備には、多額の経費（工事費・維持管理費）が必要となるが、町の財政状況を考慮しつつ設備の整備を検討する。

## 1-2 雪に関する情報提供システムの構築

### 【現状と課題】

道路除雪をはじめ、高齢者等の支援、ボランティアの受入など、雪対策に関する町民からの問合せ窓口が求められている。

また、冬期間の気象情報、道路交通情報などは住民生活には欠かせない情報で、5年後・10年後も町民の皆さんへの確かつ迅速な情報伝達を行える手段の確立が求められる。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○雪に関する相談窓口の設置</li> <li>○「冬の暮らしガイド」の作成</li> <li>○大学や関係機関との連携による地域気象情報の提供</li> <li>○雪による道路交通情報の提供</li> <li>○雪による公共交通機関情報の提供</li> <li>○関係機関との連携による雪害情報の共有と提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治区と連携した除雪モニター制度の導入</li> </ul>

### 町民の役割（自助）

- 雪害が発生または発見した際は、速やかに町及び関係機関に報告する。
- 行政情報に関心を持ち適切に理解し対応できるよう日頃から心がける。

### 行政の役割（公助）

- 雪害等（雪崩）発生した場合、速やかに町民に情報の提供を図る。
- 道路交通情報や列車運行情報など、日常生活に必要な情報を速やかに提供する。
- 電気通信会社（電力・電話）との連携を深め、雪害（停電、断線）等の情報を速やかに提供する。

## 数値目標

項目名	単位	現状値	令和10年	令和15年	設定理由
雪関連の情報発信媒体数	媒体	4	4	4	情報発信媒体を維持させ、情報伝達手段を確立する。 ※防災行政無線（戸別受信機）、ケーブルテレビ、町ホームページ、町公式LINEなどのSNS。

## 1-3 雪に強い居住環境の整備

### 【現状と課題】

人口減少、高齢化の進行により、屋根の雪下ろしや宅地周りの除雪が困難となっており、除雪作業の軽減、省力化が求められている。また、近年、各集落で空き家が増えており、除雪が適切に行われず、倒壊の危険性がある空き家が課題となっている。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"><li>○克雪型住宅や事故防止設備等の情報提供</li><li>○雪を考慮した医療・介護・福祉サービス供給体制及び生活環境施設等の整備</li><li>○地域と連携した生活環境施設の除排雪作業</li><li>○空き家に係る除排雪の管理の確保</li></ul>	

### 町民の役割（自助）

- 自宅等の新築、改修では克雪型住宅による整備を行う。
- 親族、縁者等による空き家の適切な管理を行う。

### 地域の役割（共助）

- 地域で消防、防災施設の管理、除雪を実施する。
- 平時から空き家所有者と連絡をとれる関係を保つ。

### 行政の役割（公助）

- 克雪型住宅の普及啓発及び雪下ろし時の作業用具の情報発信を行う。
- 雪を考慮した医療・介護・福祉サービスの提供に努める。
- 生活環境に係わる施設の整備については、雪を考慮した施設づくりに努める。
- 地域と連携した空き家対策を行う。
- 空き家バンクの有効活用を図る。
- 空き家の除却に向けた支援制度の周知を図る。

## 1-4 冬期共同住宅の整備

### 【現状と課題】

高齢者向けの冬期共同住宅への入居希望者の増加が見込まれることから、遊休施設や空き家を活用した共同住宅の整備が課題となっている。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
○共同住宅利用者への支援	○遊休施設や空き家を活用した施設整備

### 町民の役割（自助）

- 空き家を共同住宅として提供する。

### 地域の役割（共助）

- 共同住宅入所者の留守宅の見守りを地域で行う。

### 行政の役割（公助）

- 共同住宅への入居者に対する適切な支援を行う。
- 遊休施設、空き家の有効活用を図る。

## 1-5 環境にやさしい雪対策の調査検討

### 【現状と課題】

本町の豊富な森林資源を活用したエネルギーなど、自然エネルギーの導入による雪対策の調査検討が必要となっている。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
○自然エネルギー公共施設等への導入・管理	○自然エネルギーを活用した融雪装置の調査研究及び導入

1-5

### 町民の役割（自助）

- 自然エネルギーの効果（光熱費削減、自然環境への配慮等）や必要性を理解する。
- 国や県、町の補助事業を活用した家庭での自然エネルギーの導入を検討する。

### 行政の役割（公助）

- 企業や専門機関と連携した調査研究を進める。
- 公共施設における自然エネルギーの活用を図る。
- 広報紙やケーブルテレビで自然エネルギーを活用した設備導入について普及啓発を図る。
- 自然エネルギーの導入を促進するため、補助制度（国・県を含め）について広報誌やケーブルテレビ、町公式 LINE 等のデジタル技術を活用し、周知を図る。

「西会津町再生可能エネルギー設備等設置事業補助金」について  
令和5年4月1日現在の制度に合わせて情報を更新

## 2-1 道路交通の確保

### 【現状と課題】

近年、集中的、局地的な降雪などにより、除雪作業の遅れや、排雪場所が確保されておらず、除雪作業が十分に行うことができない道路があるなど、初動体制の強化と排雪場所の確保が課題となっている。除雪体制については、毎年策定する除雪計画に基づいて、町直営による除雪と除雪受託組合への委託による除雪を基本としている。高齢化や後継者不足が進行しており、人員の確保が課題となっている。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○初動体制の強化</li> <li>○<b>排雪場所の確保</b></li> <li>○自治区への小型除雪機の導入</li> <li>○除雪機械の計画的な更新</li> <li>○関係団体による連携会議の開催</li> <li>○国道改築事業等の整備促進</li> <li>○除雪オペレーターの免許取得のための補助制度の導入</li> <li>○除雪マイスター制度の導入</li> <li>○除雪作業の研修会や講習会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○除雪モニターの配置による的確な気象情報の把握</li> <li>○GPS装置を活用した除雪車位置情報の利用</li> <li>○除雪オペレーターの通年雇用制度の推進</li> </ul>

### 町民の役割（自助）

- 除雪に係る作業基準や除雪車の出動基準、排雪場所の必要性を十分理解し、除雪作業に協力する。
- 除雪作業に影響する路上駐車や道路への投雪はやめる。

### 地域の役割（共助）

- 地区除雪組合を組織し、除雪車が入らない狭隘<sup>きょうあい</sup>な道路の除雪作業に協力する。

### 行政の役割（公助）

- 降雪、積雪状況に対応した除雪の作業基準や除雪車出動基準を作成し、町民への周知を図る。
- 除雪オペレーターや除雪受託組合とともに排雪場所の確保や除雪作業の工夫・強化に努める。
- 除雪オペレーターなどの担い手の育成を図るため、補助制度等を検討する。
- 道路改良による安全な交通を確保する。
- 関係機関との連携により、国道・県道の整備促進を図る。

## 数値目標

項目名	単位	現状値	令和10年	令和15年	設定理由
除雪オペレーターの確保	人	84	84	84	直営・委託（常時・交代 含み）の除雪オペレーターについて、高齢化が進み減少していくことが見込まれる中で、現状の除雪体制を5年後、10年後も維持していくため。
		※平均年齢 50 歳を目標とする			

### 2-2 歩道の確保

#### 【現状と課題】

歩道が設置されている区間について、歩道除雪が実施されている。通学児童生徒が多く利用する通学路の除雪を含め、歩行者の安全で快適な歩行空間確保を推進していく必要がある。

#### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○除雪出動基準による除雪作業</li> <li>○歩行者に対する交通安全対策の実施</li> <li>○通学時間に合わせた除雪作業</li> <li>○防雪柵等の安全施設の設置</li> </ul>	

#### 町民の役割（自助）

- 宅地から歩道への投雪や歩道への路上駐車はやめる。
- 歩道の除雪作業に協力する。

#### 地域の役割（共助）

- 地域の見守り活動による児童の安全な登下校を支援する。

#### 行政の役割（公助）

- 降雪、積雪状況に対応した歩道除雪基準を作成する。
- 降雪前に歩道の点検、清掃を行う。

2-1

2-2

### 3-1 地域における雪処理の体制づくり

#### 【現状と課題】

人口減少や高齢化の進行により、自力で除雪作業ができない高齢者が増え、地域における除雪作業の担い手も減っている中、自助、共助、公助の考えのもと、相互に連携、補完しながら、地域全体で取組む推進体制が求められている。地域内の除排雪を共同で実施する除雪組合の設置や、新たな担い手の確保を目的とした女性や移住者を対象とした除雪機械の操作講習会などの開催が必要とされている。

#### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"><li>○既存除雪組合の運営内容の検討</li><li>○小型除雪機の貸与や運用方針についての見直し</li><li>○安全対策に関する講習会の開催</li><li>○自治区全体による一斉除排雪作業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○未組織の自治区に対する除雪組合の設置と支援</li></ul>

#### 町民の役割（自助）

- 除雪組合の重要性を理解し、除雪活動に積極的に参加する。

#### 地域の役割（共助）

- 自治区全体で、除雪組合の設置に取り組んでいく。
- 一斉除雪作業など、自治区全体で取り組んでいく。
- 周辺自治区とも連携しながら除雪作業を進めて行く。

#### 行政の役割（公助）

- 除雪組合の設置に向けた支援を行う。
- 個人からの借上げも含め、必要な小型除雪機を配置できるようにする。
- 安全対策に関する講習会や指導を行う。

「西会津町除雪機械貸与事業」について、令和5年4月1日現在の制度に合わせて情報を更新

## 3-2 除雪弱者、要配慮者への支援

### 【現状と課題】

除雪弱者や要配慮者に対し、本町では社会福祉協議会の見守り協力員による「声掛け」や「道路までの道踏み」を実施している。また、町では平成27年度から雪処理支援隊を設置し、要配慮者への支援を行っている。支援を必要とする世帯が年々増えており、自治区をはじめとした関係機関と連携しながら、除雪弱者や要配慮者への支援を行う体制づくりが課題となっている。

### 【課題を解決するための実施計画】 「移住者」を含め内容を見直し

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域における話合いの場の開催</li> <li>○雪処理支援隊の拡充</li> <li>○地域の支え合い活動による雪処理支援</li> </ul>	

### 町民の役割（自助）

- 地域の除雪活動に協力する。

### 地域の役割（共助）

- 地域で支援に向けた話合いを実施し、地域ごとに除雪マニュアルを作成する。
- 見守り協力員が地域での高齢者等の見守り活動を推進する。
- 除雪組合を組織し、共同での除排雪作業を実施する。

### 行政の役割（公助）

- 高齢者等の地域見守り活動を推進する。
- 雪処理支援隊の効果的な活用に努める。
- 地域での話し合いを進めるため、講師の派遣などの支援を行う。

## 数値目標

項目名	単位	現状値	令和10年	令和15年	設定理由
地域における話合いの場の開催回数	回	1	5	10	自治区全体で雪に関する話し合う機会を作ることで、自立的で安全な共助体制の構築を図る。
雪処理支援隊の人数	人	9	15	25	雪処理支援隊の拡充を図るためのマンパワーを確保するため。

### 3-3 除雪作業の担い手確保

#### 【現状と課題】

近年、本町においても社会福祉協議会やボランティアサポートセンターにおいて、ボランティアを募集し、除雪困難な高齢者宅の除雪を実施している。今後も町外の大学や企業をはじめ、関係機関と連携しながら雪処理の担い手として、ボランティアの活用が必要とされている。

#### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○除雪事業者の紹介</li> <li>○低所得者に対する支援制度</li> <li>○関係団体との連携及びボランティアの活用</li> <li>○大学や企業等によるボランティアの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域除雪活動の組織化</li> <li>○地域除雪活動への支援</li> </ul>

#### 町民の役割（自助）

- 地域の除雪活動に積極的に参加する。
- 除雪ボランティアに積極的に参加する。
- 除雪ボランティアの受入に協力する。

#### 地域の役割（共助）

- 地域における除雪活動を積極的に推進する。
- 地域として、除雪ボランティアの受入に協力する。

#### 行政の役割（公助）

- 除雪弱者の除雪作業に係る支援を行う。
- ボランティア活動サポートセンターと連携し、除雪ボランティアの活用を推進する。

「除排雪費用助成事業」について、令和5年4月1日現在の制度に合わせて情報を更新し、地域除雪活動の組織化に係る他自治体の先進事例を追加掲載

## 4-1 雪害防止対策

### 【現状と課題】

本町では雪崩等の雪害を防止するため、県と協力しながら緊急性の高い箇所から計画的、重点的に雪害防止対策を実施してきた。今後も雪害防止箇所の改善や危険箇所の調査及びハザードマップの見直しのほか、看板等の設置により、危険箇所の周知を図るなどの安全対策を推進していく必要がある。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"><li>○雪崩危険箇所の表示</li><li>○倒木危険箇所の対策</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○危険箇所への雪崩防止柵等の設置</li></ul>

### 町民の役割（自助）

- 防災ハザードマップにより危険箇所を予め確認する。
- 倒木の危険がある箇所の伐採、除却を行う。

4-1

### 地域の役割（共助）

- 降雪前に地域全体で雪対策について話し合う。

### 行政の役割（公助）

- 雪崩危険箇所の調査、点検を行い適切な対応策を講じる。
- 雪害危険箇所について、住民への周知、情報提供を行う。
- 雪害危険箇所の森林所有者に倒木等の伐採、除却を依頼する。
- 防災ハザードマップに雪崩危険箇所を記載する。

## 4-2 安全な雪対策の取組み

### 【現状と課題】

本町では冬期間交通事故が多発していることから、警察をはじめ、交通安全関係団体や国、県と連携しながら、冬期間の交通事故等の防止に努める必要がある。また、雪処理による事故等も発生していることから、雪処理作業の安全講習会の開催も必要とされている。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○冬期間の交通安全対策活動の実施</li> <li>○雪道の安全運転等の広報活動</li> <li>○安全に除雪作業を実施するための広報活動</li> <li>○安全な雪処理作業の広報活動</li> </ul>	

### 町民の役割（自助）

- 早期にスタッドレスタイヤに交換するとともに、雪道での安全運転に心掛ける。
- 気象情報を確認し、豪雪時は不要不急な外出はしない。
- 交通ルールを守り、交通事故にあわない、起こさないようにする。
- 道路には雪を出さない、駐車をしない。
- 除雪車には近づかない。
- 雪下ろしや除雪機の操作は安全に十分注意する。

### 地域の役割（共助）

- 地域での交通安全対策活動を推進する。
- 屋根の雪下ろしなどは、できるだけ自治区など集団で行う。
- 自治区内の危険箇所は、自らが事前に把握しておく。
- 道路への投雪、駐車をしないよう呼びかける。

### 行政の役割（公助）

- 防災行政無線やケーブルテレビなどを活用して、交通安全対策や除雪作業の安全啓発を行う。
- 除雪作業の安全講習会を開催する。
- 一斉除雪を実施する。

# 施策の展開

## 数値目標

- 4 基本方針 安全な生活環境づくり  
地域安全克雪方針 安全・安心に暮らせる町
- 5 基本方針 豪雪時の体制づくり

項目名	単位	現状値	令和10年	令和15年	設定理由
冬期間における事故件数	件	32	15	10	地域における除雪時や車での事故を防止し、安全な地域を実現するため。
除雪作業安全講習会の開催件数 (事業者、高齢者、女性等)	件	1	3	5	除雪作業時の事故防止と担い手の育成のため。全地区のニーズに合った講習会開催を目指す。

### 5-1 豪雪対策本部の設置と応急対策

#### 【現状と課題】

本町では、豪雪により住民生活に著しい支障があると認められる時、またはその恐れがある時、豪雪対策本部を設置している。対策本部では、国、県、関係機関の協力を得ながら、道路交通の確保など住民生活に支障をきたさないよう、迅速な状況把握と災害予防への対応、応急対策に万全を期すこととしている。

#### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"><li>○町防災計画による豪雪対策本部の設置</li><li>○町防災計画に基づく応急措置</li><li>○災害時相互応援協定の推進</li></ul>	

#### 町民の役割（自助）

- 気象情報や防災行政無線、ケーブルテレビなど複数のメディアを活用して発信される行政情報に十分注意を払うとともに、豪雪時は不要不急な外出をしない。
- 雪下ろしなどは、できるだけ自治区での一斉除雪のときに行うか、または民間業者へ委託する。

#### 地域の役割（共助）

- 自治区内の住民の安否や除排雪の状況などを確認する。
- 屋根の雪下ろしなどは、できるだけ一斉除雪など集団で行う。

#### 行政の役割（公助）

- 豪雪対策本部を設置し、防災計画に基く応急措置を速やかに実施し、町民生活に支障を来さないよう対応、対策に万全を期する。
- 役場関係各課の緊密な連携はもとより、国、県、関係機関と連携を図る。
- 防災行政無線やケーブルテレビをはじめ、町公式LINEなど複数のメディアを活用し、町民への的確な情報を伝達する。

## 6-1 産業及び観光の振興

### 【現状と課題】

本町では、冬期間、経済活動各搬にわたり、活動が停滞している状況である。しかし近年農業分野では、耐雪型パイハウスの導入により、冬期間でも野菜栽培が可能となり、生産農家も増えつつある。また林業においても、菌床きのこ栽培では生産者が増え、町の特産となってきた状況である。

また、観光については、かつては冬期間の観光はオフシーズンであったが、雪国まつりや雪国の暮らしをテーマとしたグリーンツーリズムなどにより、友好都市や首都圏からの来町者も増えつつある。さらに誘客に向けた取組みが課題となっている。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○テレワークの推進</li> <li>○雪を利用した高付加価値型農業の振興</li> <li>○雪室施設の活用</li> <li>○冬期のグリーン・ツーリズム活動の充実</li> <li>○農家民泊の推進</li> <li>○雪を活用したイベントの開催</li> <li>○地域におけるイベント情報の発信</li> <li>○冬の伝統行事の継承</li> <li>○雪国体験交流の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○雪国を利用した遊休施設等の活用を調査・研究</li> <li>○雪冷房システムを活用したデータセンターの誘致の調査・研究</li> <li>○雪国特有の民俗資料の伝承</li> </ul>

### 町民の役割（自助）

- 雪国まつりや雪国体験交流などのイベントに積極的に参加する。

### 地域の役割（共助）

- 地域の冬の伝統的な行事（歳ノ神やだんごさし）や暮らし、食を通し、都市との交流を受け入れる。

### 行政の役割（公助）

- 雪や自然エネルギーを活用した産業振興について調査、研究を進める。
- 雪室を有効に活用し農林業の振興を図る。
- 雪国の暮らし、食、伝統行事を活かした観光の振興を図る。
- 雪国まつりなどのイベントを継続して行う。

## 6-2 快適な冬の暮らし

### 【現状と課題】

本町では、冬期間積雪のため屋外で運動する機会が少なくなり、冬期間の健康づくりや健康管理は大変重要な課題である。健康増進の場の提供や食生活改善の取組みなどを通して、健康管理に努めていく必要がある。

### 【課題を解決するための実施計画】

短期（現在実施又は実施可能な施策）	長期（課題の解決が必要な施策）
<ul style="list-style-type: none"><li>○冬期間におけるスポーツの振興</li><li>○運動機会の提供</li><li>○食生活の改善</li><li>○伝統衣装の伝承</li><li>○食文化の伝承</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○雪に関する学習機会の提供</li><li>○雪氷冷熱エネルギーの活用</li></ul>

### 町民の役割（自助）

- 冬期間の運動や健康ポイント事業など、積極的に取り組む。
- 伝統料理を次の世代に受け継いでいく。

### 地域の役割（共助）

- 冬の伝統的な行事（歳ノ神やだんごさし）を地域で子どもたちに継承していく。

### 行政の役割（公助）

- 冬期間の運動に親しみやすい環境に努める。
- 雪に関する学習機会の提供を行う。

# 雪対策基本計画（第2期）【概要版】

〔発行〕

〒969-4495

福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙3308番地

西会津町企画情報課



本編はこちらから▶

TEL 0241-45-4536 FAX 0241-45-4199

<https://www.town.nishiaizu.fukushima.jp>